

事業の概要

公益事業 1 狂犬病予防事業

平成 29 年度 集合注射実績

集合注射の昨年度との比較は 8.43%減少でした。

支部 年度	桑員	三泗	鈴鹿	津	松阪多気	伊勢志摩	伊賀	紀州	総計
29	1,534	1,951	2,337	1,676	2,709	2,590	1,676	1,291	15,764
28	1,735	2,144	2,517	1,789	2,924	2,874	1,772	1,461	17,216
差異	-201	-193	-180	-113	-215	-284	-96	-170	-1,452

平成 29 年度 個別注射実績（三重県資料：平成 27 年度から会では個別注射実績を調査しておりません。）

個別注射の昨年度との比較は 0.39%増加でした。

支部 年度	桑員	三泗	鈴鹿	津	松阪多気	伊勢志摩	伊賀	紀州	総計
29	10,589	15,850	10,383	11,366	7,916	6,934	5,738	1,529	70,305
28	10,720	15,971	9,996	11,313	7,859	6,627	5,926	1,619	70,031
差異	-131	-121	387	53	57	307	-188	-90	274

(公益事業 3 獣医療・学術研修事業)

- ・平成 30 年 2 月 9 日(金)三重県総合文化センター生涯学習センター棟において、平成 29 年度狂犬病予防及び動物愛護管理研修会を三重県と共催しました。(詳細は公 3 の公衆衛生部会に記載)

公益事業 2 動物愛護・救護等事業

(小動物部会)

1) 動物愛護啓発事業

- ・身体障がい者補助犬事業

平成 29 年度の身体障がい者補助犬募金活動では、会員病院等の協力により、総額は 385,210 円となりました。平成 30 年 3 月 23 日(金)三重県健康福祉部 部長室横会議室において、補助犬普及にかかる募金贈呈式を行い、西山会長から社会福祉法人中部盲導犬協会へ 343,101 円、特定非営利法人三重補助犬普及協会へ 42,109 円を贈呈しました。本会からは永田副会長兼事務局長、山添部会長が出席しました。

また、県内補助犬に会負担で狂犬病予防注射を実施しました。(29 年度実績)

件数	会の助成額 (1 頭あたり)	総額
5	2,650	13,250

- ・環境省から送付された動物愛護週間(9月20日～9月26日)ポスターを小動物部会員へ発送し、病院で掲示依頼しました。
- ・動物愛護週間中の9月23日(土・祝)三重県動物愛護推進センター(あすまいる)において、第3回長寿犬猫表彰式を開催しました。主催者側の参加者は西山会長、永田副会長、山添小動物部会長、平山小動物部副会長、役員の石丸先生、松立先生、田中千晴先生、住吉宏文先生、白米先生、近藤仁先生、事務局からは職員1名でした。受賞は猫4匹、犬10頭、うち参加者は24名、猫1匹、犬5頭でした。

式では、会長より参加者へペットの写真入り表彰状と記念品のスリッカーブラシ(日本全薬工業(株)提供)、カレンダー(三重県提供)が贈呈され、新聞に掲載されました。

- ・9月23日(土・祝)、24日(日)伊賀の里モクモク手づくりファームにおいて、動物愛護週間事業「動物愛護 DAY in モクモク」が開催され後援しました。動物愛護教室、「動物のお医者さん」体験、動物たちへ「あ

りがとう」のメッセージカードづくり、ペットの名札づくり、手洗い実験教室、千羽鶴づくり等行われました。

2) 災害時の動物救護活動事業

- ・6月6日(火)伊賀庁舎7階大会議室において、平成29年度三重県・伊賀市・尾鷲市・紀北町総合防災訓練にかかる第1回全体会議が開催され、辻勝彦先生が出席しました。
- ・8月28日(月)三重県伊賀庁舎7階大会議室において、平成29年度三重県・伊賀市・尾鷲市・紀北町総合防災訓練にかかる第2回全体会議が開催され、辻勝彦先生が出席しました。
- ・9月10日(日)四日市市川島小学校において、防災訓練が開催され、平山先生、井上先生、神谷先生、藤原先生、水谷孔治先生が出席しました。小学校体育館での防災啓発ブースにおいて、ペットの災害対策としていざという時の心構えやマイクロチップの説明、備蓄品の展示をしました。
- ・11月5日(日)平成29年度三重県・伊賀市・尾鷲市・紀北町総合防災訓練が開催され、辻勝彦先生、佐々木直先生、中島尚紀先生、萩田昌和先生が出席しました。『動物飼主に対する防災意識の啓発、向上』災害時における飼い主の対応の説明、平常時における飼い主の災害準備の説明、マイクロチップ普及および飼主明示、地元の自治体の方との話し合い等をしました。
- ・11月5日(日)第1回東海地区(四県一市)獣医師会災害対策会議が開催され、永田副会長兼事務局長が出席しました。大規模災害発生時の東海地区獣医師会による相互協力等について協議しました。平成30年3月18日(日)に2回目の会議が開催され、西山会長、山添小動物部会長が出席しました。
- ・11月12日(日)津市美里総合運動公園において、防災訓練が開催され、住吉宏文先生、橋爪俊裕先生、奥田先生、あすまいるの千田先生が出席しました。展示ブースにて、市民へのペットの避難に関しての啓蒙、マイクロチップの普及啓蒙、ペット防災用品の展示・準備普及啓蒙、迷子札の作成教室、狂犬病予防・鑑札の正しい使用法等の啓蒙等をしました。
- ・11月12日(日)とれたて名張において、名張市とあすまいるの共催による動物とのふれあい防災訓練が開催され、辻勝彦先生、佐々木直先生が出席しました。
- ・12月22日(金)アスト津において、環境省と三重県の共催で大規模災害時のペット対策に関する広域支援・受援体制整備に係るモデル図上訓練が開催され、橋爪俊裕先生が出席しました。

3) 受託事業 (傷病野生鳥獣事業・負傷動物保護事業)

- ・子犬の譲渡事業 (三重県動物愛護推進センターが設立されたため、H29年度から廃止となりました。)
- ・傷病野生鳥獣救護事業

4月1日付けで三重県農林水産部と傷病野生鳥獣救護事業にかかる委託契約を交わしました。現在の救護活動状況です。(29年度実績)

傷病野生鳥獣救護診療		
種類	件数	金額：円
獣類	0	0
鳥類	16	110,700
合計	16	110,700

・負傷動物保護事業

診療費が未収の病院へ助成しました。(29年度実績)

負傷動物診療				
種類	報告件数	領収済件数	未収件数	助成金額：円
犬	7	2	5	60,142
猫	4	1	3	46,190
合計	11	3	8	106,332

公益事業3 獣医療・学術研修事業

1) 産業動物臨床部会

・6月29日(木)中央家畜保健衛生所において、平成29年度産業動物臨床研究会第2回研究会を開催しました。講習会の内容は次のとおりです。

演題 乳用牛・肉用牛に増加している疾病と対策

①RSウイルス感染症について ②甚急性乳房炎について ③肥育牛の突然死について

講師 函城 悦司 先生((株)微生物科学研究所 技術企画部)

2) 畜産家畜衛生・産業動物臨床部会

・9月8日(金)三重県男女共同参画センター多目的ホールにおいて、平成29年度高病原性鳥インフルエンザ防疫研修会を三重県、三重県畜産協会と共催しました。参加者は213名、うち会員は34名でした。内容は次のとおりです。

①演題 高病原性鳥インフルエンザの現状と今後の課題

講師 迫田 義博 先生(教授 北海道大学大学院獣医学研究院病原制御学分野微生物学教室)

②演題 防疫体制について

講師 前川 佳寛 先生(主任 三重県農林水産部畜産課家畜衛生班)

③演題 埋葬作業について

講師 湯浅 豊司 先生(班長 三重県農林水産部農業基盤整備課国営調整水利班)

3) 小動物部会

・平成30年2月3日(土)津リージョンプラザにおいて、平成29年度小動物部会研修会を開催しました。参加者は28名、うち会員は21名でした。内容は次のとおりです。

演題 「マダニが媒介する人獣共通感染症～診断と治療～」

講師 前田 健 先生(山口大学共同獣医学部獣医微生物学教室 教授)

4) 公衆衛生部会(狂犬病予防部会)

・平成30年2月9日(金)三重県総合文化センター生涯学習センター棟において、平成29年度狂犬病予防及び動物愛護管理研修会を三重県と共催しました。参加者は48名でした。内容は次のとおりです。

(1) 講演

演題 「最近話題の人獣共通感染症～狂犬病とダニ媒介感染症を中心に～」

講師 杉山 誠 先生(岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科人獣共通感染症学研究室 教授)

(2) 県内における動物愛護管理の取組紹介

ア 三重県におけるダニ媒介感染症の状況(三重県保健環境研究所)

イ 紀宝町における動物愛護管理の取組(紀宝町環境衛生課、三重県熊野保健所)

ウ 三重県動物愛護推進センター「あすまいる」の取組(三重県動物愛護推進センター)

エ 大規模災害時のペット対策に関するモデル図上訓練(三重県健康福祉部食品安全課)

5) 部会共通

・10月8日(日)大阪府立大学中百舌鳥キャンパスにおいて、平成29年度獣医学術近畿地区学会が開催されました。参加者は329名、うち、三重県獣医師会会員は24名でした。会員の発表演題数は、産業動物2題、小動物2題、公衆衛生3題の計7題でした。地区学会における優秀研究者褒賞に赤地 重宏氏(公衆衛生学会)、また、奨励研究者褒賞に内山 真美子氏(公衆衛生学会)が選出されました。

当日の役員会議に西山会長が出席し、事務担当者会議に永田事務局長、職員2名が出席し、受付業務を行いました。幹事会に佐藤伸司先生、橋爪俊裕先生、水野正宏先生が出席し、座長に竹馬工先生、今西貴久先生、審査委員に鈴木義久先生、川合朗先生、佐々木友美先生がそれぞれ就き、任務を遂行しました。

・平成30年2月10日(土)～12(月・祝)大分県別府(別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ)において、平成29年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会が開催され、永田副会長が出席しました。また、平成29年度地区学会(近畿)における優秀研究者褒賞を受賞した赤地重宏氏(公衆衛生学会)が発表しました。

収益事業 指示書等販売事業

予防接種証明書等の売上額は、403,910円、マイクロチップ売上額は、724,119円でした。

その他事業 近畿地区連合獣医師大会事業

10月8日(日)15時から大阪府立大学中百舌鳥キャンパス学术交流会館において、第95回近畿地区連合獣医師大会が開催されました。参加者は205名、うち、三重県獣医師会会員は16名でした。本会の受賞者は三野營治郎氏(日本獣医師会会長感謝状)、柳川健二氏(近畿地区連合獣医師会会長表彰状)、下田智彦氏(優秀研究者褒賞・産業動物)、中川涼子氏(優秀研究者褒賞・公衆衛生)、入江拓也氏(奨励研究者褒賞・産業動物)、山根知子氏(奨励研究者褒賞・産業動物)、楠原一氏(奨励研究者褒賞・公衆衛生)です。西山会長、永田副会長兼事務局長、職員2名が業務にあたりました。

会計報告

財産状況の推移

【公益社団法人後の収支および財産状況の推移】

(単位:円)

年度ごとの状況	平成22年度 (10/1～3/31)	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
期首一般正味財産額	41,873,425	29,738,586	34,027,601	31,725,911	29,607,519	27,311,709	27,906,185	28,787,799
当期収入計	1,192,103	88,810,752	79,148,903	76,139,065	66,596,362	68,226,209	65,363,779	58,549,718
当期支出計	13,326,942	84,521,737	81,380,593	78,187,457	68,820,172	67,559,733	64,410,165	59,010,718
当期収支差額	△12,134,839	4,289,015	△2,231,690	△2,048,392	△2,223,810	666,476	953,614	△461,000
法人税、住民税および事業税			70,000	70,000	72,000	72,000	72,000	72,000
期末一般正味財産額	29,738,586	34,027,601	31,725,911	29,607,519	27,311,709	27,906,185	28,787,799	28,254,799
資産計	39,082,524	40,297,183	36,244,375	34,636,200	33,094,073	33,892,875	35,522,124	35,517,194
負債計	9,343,938	6,269,582	4,518,464	5,028,681	5,782,364	5,986,690	6,734,325	7,262,395
正味財産計	29,738,586	34,027,601	31,725,911	29,607,519	27,311,709	27,906,185	28,787,799	28,254,799